



日野療護園  
フォーシーズン

東京都  
社会福祉  
事業団



# Four Seasons

No.91

2021年3月15日 冬号

発行/編集：日野療護園 〒191-0034 日野市落川 245-1 TEL042-593-2421 fax042-593-0075 mail:hinoryo@hinoryo.org HP...

<http://jigyodan.org/hino/>

## クリスマスイベント



例年はホールに大勢集まり、コンサートを開いてみんなで合唱、ボランティアの皆様と交流を深めるイベントを行っていましたが、今年は新型コロナウイルスの影響で開催形態の見直しを迫られました。

いわゆる三密を避けつつクリスマスの雰囲気を楽しんでいただくため、園内各所にクリスマス装飾を施し、ボランティアの皆様にはクリスマスカードの送付を行い、利用者様にはサンタクロース&トナカイが個別に居室等を訪れプレゼントをお渡ししました。利用者様は突然のサンタ来訪に驚かれつつ、笑顔いっぱい楽しいひとときを過ごされました。給食ではローストチキンやピラフ、クリスマスケーキ、シャンメリーが提供され、お祭りの気分をさらに盛り上げました。

引き続き感染拡大防止のため、制限のある生活が続いておりますが、その中で少しでも気分が晴れるような企画を考えていきたいと思っております。（記：村松）



Merry Christmas

# 2020



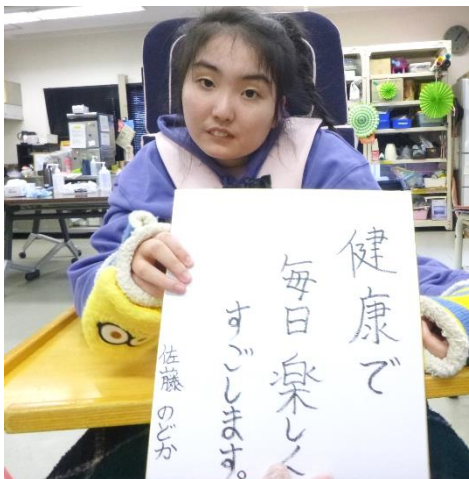
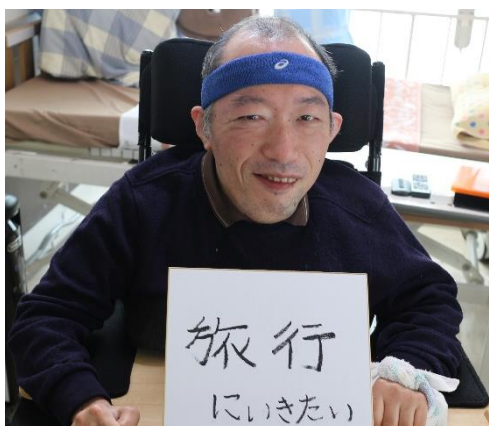


## お正月イベント



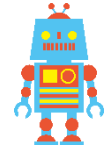
今年<sup>ことし</sup>はいつもとは違うお正月<sup>しょうがつ</sup>となりました。これまでお正月<sup>しょうがつ</sup>と言えば、園庭<sup>えんてい</sup>にみんなで集<sup>あつ</sup>合<sup>あ</sup>しその年<sup>とし</sup>の干支<sup>かんし</sup>を人文字<sup>ひともじ</sup>で描<sup>えが</sup>く、ホールで二人<sup>ふにん</sup>羽織<sup>はおり</sup>や福笑い<sup>ふくわらい</sup>を楽しむなどして新しい年<sup>とし</sup>をお祝<sup>いわ</sup>いしていましたが、今年<sup>ことし</sup>は新型<sup>しんがた</sup>コロナウィルスの影<sup>えい</sup>響<sup>きやう</sup>で例年<sup>れいねん</sup>通りのイベント<sup>イベント</sup>が出来<sup>でき</sup>ませんでした。

そこで今年<sup>ことし</sup>は、利用者<sup>りようしや</sup>様<sup>さま</sup>各々<sup>おの</sup>に今年<sup>ことし</sup>の抱負<sup>ほうふ</sup>や好き<sup>すき</sup>な漢字<sup>かんじ</sup>・言葉<sup>ことば</sup>を色紙<sup>しきし</sup>に書<sup>か</sup>いていただい、ご本人<sup>ごほんにん</sup>と一緒<sup>いっしょ</sup>に写真<sup>しやしん</sup>を撮<sup>と</sup>り、園内<sup>えんない</sup>に飾<sup>かざ</sup>らせていただきました。特に新型<sup>しんがた</sup>コロナウィルスに関する言葉<sup>ことば</sup>が多く、「コロナに負<sup>お</sup>けない」という強い意<sup>い</sup>志<sup>し</sup>が感<sup>かん</sup>じられました。他<sup>ほか</sup>にも様々<sup>さまざま</sup>な抱負<sup>ほうふ</sup>があり、利用者<sup>りようしや</sup>様<sup>さま</sup>それぞれの気持<sup>きもち</sup>ちを知る良<sup>よ</sup>い機<sup>き</sup>会<sup>かい</sup>となりました。(記<sup>き</sup>: 田島<sup>たじま</sup>・成井<sup>なりい</sup>)





ぶんしん おりひめ がいしゅつ  
分身ロボット OriHime 外出



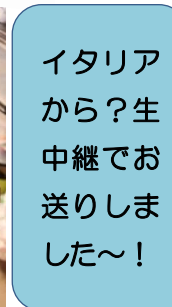
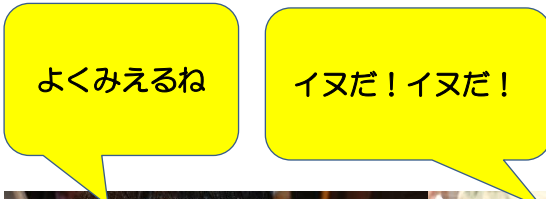
ぶんしん  
分身ロボット  
「OriHime」

2021年になりましたが、感染症対策のためなかなか外出が出来ない状況が続いています。そのような中で導入されたのが、前号でもご紹介しました分身ロボット「OriHime」。この「OriHime」から見える映像をリアルタイムで送信、利用者の居室に設置したタブレットを通じて見ることによって、外出気分を味わうことができます。

買い物の代行では、お店の商品棚の映像を見ながら欲しい商品を選べます。「右のやつをもっと近くで見せて」などリクエストをする場面も。お正月には、近所の神社に初詣。OriHimeを操作し、両手を合わせてのお参りが出来ました。先日の散歩では、道で出会った人にOriHimeの手を振って挨拶をしたり、途中で出会った犬に大はしゃぎしてみたり。

最近ではイタリア好きな利用者のためにヴァーチャル・イタリア旅行を企画！イタリア観光の動画を大きなスクリーンに映し、イタリアに飛んだ職員によるOriHimeを使つての旅中継を演出？！旅の終わり、空港をバックに「さようならイタリア！」と国旗を振る職員。体験した利用者はチープな演出に笑いながらも、思い出のイタリアの街並みを楽しまれ「また行きたい！」と言ってくれました。

コロナ禍の中、ストレスがたまりがちですが、少しでも気分転換のひとつになるよう、これからもOriHimeを活用していきたいと思えます。（記：美尾・岩田）



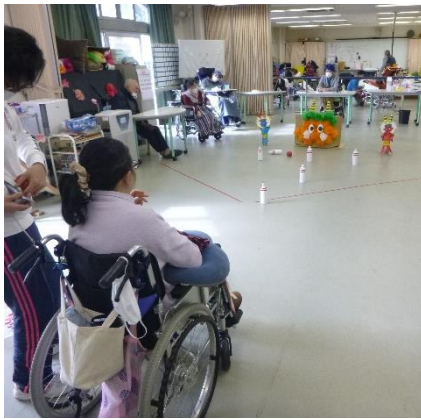


せつぶん  
節分イベント


今年の節分は2月3日ではなく、124年ぶりに2月2日でした。  
当園は感染症対策を考え、いつもの豆まきではない形で節分  
イベントを企画、障害者スポーツのひとつであるボッチャによる  
鬼倒しや節分に関する〇×クイズ、間違い探しを行いました。

ボッチャでは、ボールで鬼を倒して鬼退治した後、仲良く鬼と記念撮影！節分に関する〇×クイズでは意外に節分  
について知らないことが多く驚きました。名字が渡辺さんの方は豆まきをしなくてもいいそうです。知っていまし  
たか？(知らない方は検索してみてください！笑)

節分の絵柄の間違い探しは、イラストとにらめっこして最後まで探している方もいました。コロナ禍の中、何が  
出来るか模索しながらのイベントでしたが、みなさん楽しんで下さったようで、みなさんから沢山の笑顔とパワー  
をいただきとても嬉しかったです。(記：嘉向)


じょくそう けんしゅうほうこく  
褥瘡ケア研修報告


2月3日、園内で新任・転入職員を対象に褥瘡のケアに関する研修を行いました。褥瘡とは  
長い時間同じ体勢でいたため体重で圧迫されている場所の血流が悪くなったり滞ったりして傷等  
ができてしまうことで、介護者にとって褥瘡を正しく理解し、予防することがとても重要です。

理論部分は園に栄養補助食品などを卸してくれている企業の管理栄養士に講師をお願いし、実践部分は園の理学  
療法士に実際の利用者様の体位交換等の支援に沿って説明してもらいました。もちろんソーシャルディスタンスは  
しっかり取り、理論の講義はオンラインで行いました。20名ほどの新任・転入職員は皆真剣な顔で受講し貴重な  
研修になったという声が多く聞かれました。

この研修で学んだ事を日々の支援に活かし、より良い支援に繋がっていきます。職員のスキルアップこそが園のレ  
ベルアップに繋がると信じ、今後とも職員一同研鑽していきたいと思ひます。(記：井口)

## へん 集 後 記

暖かい日が増えてきましたが、まだまだ寒い日が続いています。しっかり食事、睡眠をとり健康管理には気を付  
けてお過ごしください。(記：成井)